

(特非) 三番瀬環境市民センター

一般助成

1年目

調査研究

青潮対策を軸とした 三番瀬保全・再生プランづくりの ための調査・研究



船の上から採泥器を落として底生生物を採取

モニタリング調査 8回

環境学習プログラムを
つくり実施

5回

活動の全体目標に
対する達成度

40%

課題

東京湾奥の干潟・三番瀬が抱える課題と、再生の方向性を多くの人と共有して、再生計画と利用ルールをつくり、1日も早く三番瀬再生の取り組みをスタートしたい。

活動内容

- 三番瀬海域の環境変化(特に無酸素水塊の生成と青潮の発生について)をタイムリーに把握するために、条件の違う2地点で、年間4回ずつ底生生物と水質(特に溶存酸素)のモニタリング調査を実施した。
- モニタリング調査をベースとした環境学習プログラムを作り、夏休みの小学生親子と高校生に実施した。



干潟の生き物を調べる
環境学習プログラム

今後の課題

- モニタリング調査を継続する。
- 調査の精度を上げながら、市民目線の評価指標を作り、共感を得られる情報発信をする。
- 成果を広報する手段として、インターネットやSNSを活用の環境を整え、発信力を上げる。

成果と工夫した ポイント



成果

モニタリング調査を予定通り8回実施し、データを蓄積できた。モニタリング調査をベースにした環境学習プログラムを12回(委託も含めて)、約400人に実施した。

工夫

漁業関係者との良好な関係を構築したことで、調査活動がスムーズになった。